

那智勝浦町【周辺部】

津波ハザードマップ



津波避難先の安全レベルについて

和歌山県では、避難場所などについて、各地区単位で緊急避難先レベル(1~3)を設定するなどの対策を行っています。
 ▶まずは、レベル3をめざして逃げてください。レベル3に避難する時間がない時はレベル2へ。
 ▶浸水の危険がある地域でレベル2-3に避難する時間がない時はレベル1に逃げてください。

レベル1 ★	レベル2 ★★	レベル3 ★★★
浸水の危険性がある地域で、避難場所が浸水する危険性がある施設を、「レベル2-3」へ避難する余裕がない場合の緊急避難先として指定。	浸水の危険性がある地域で、海から離れた場所にあり、避難場所の高さまで浸水しない施設を、「レベル3」へ避難する余裕がないときの緊急避難先として指定。	浸水の危険性がない地域に、より標高が高くより離れた安全な場所を指定。

津波に関する警報と注意報

津波による災害の発生が予想される場合には、気象庁より「大津波警報」「津波警報」「津波注意報」が発表されます。これまで8段階で発表していた「予想される津波の高さ」について、被害との関係や、予想される高さの大きいほど誤差が大きくなることを踏まえ、5段階に集約しました。

津波警報等	予想される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	数値での発表	巨大地震の場合の発表		
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、高台など安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。
	10m (5m<高さ≤10m)			
津波警報	5m (3m<高さ≤5m)	高い	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。
津波注意報	3m (1m<高さ≤3m)			
津波注意報	1m (20cm≤高さ≤1m)	(表記しない)	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしないでください。	海の中では人は強い流れに巻き込まれる。小型船舶が転覆する。

- 震源が陸地に近いと津波警報が間に合わないことがあります。「揺れたら避難」を徹底しましょう。
- 津波は沿岸の地形などの影響により局所的に予想より高くなる場合があります。より高い場所を目指して避難しましょう。
- 地震発生後、予想される津波の高さが200cm未満で被害の心配がない場合、または津波注意報の解除後も海面変動が続く場合には、「津波予報(若干の海面変動)」を発表します。

津波警報等のサイレン音について

和歌山県では、津波警報や津波注意報が発令された場合、警報音として下記のようなパターンでサイレンを用いた放送を行います(※和歌山県で統一したサイレン音です)。



サイレン音を聞いた場合は、すぐに高台等の安全な場所へ避難しましょう!!

津波の特徴と避難のポイント

地震・津波はいつ、どこで発生するか分かりません。津波が到達するおそれがある場所にいるときは、できるだけ早く、高いところへ逃げる必要があります。津波の特徴を知り、身を守るためのポイントをしっかりと確かめておきましょう。

恐るべき津波の破壊力

普通の波(波浪)と違い、津波は海底地盤の上下による海水全体の動きのため、海底から海面までのすべての海水が巨大な水の塊となって沿岸を押し寄せ、その破壊力は凄まじいものとなります。引き波も長時間にわたり引き続けるために、家屋などが一気に海中へと引き込まれてしまいます。

津波の速度は速い

津波の陸上をさかのぼるときの速さは、時速36km程度になります。これはオリンピックの短距離走者並みの速さです。津波が見えてから、走って逃げ切ることは非常に困難です。

津波は繰り返し来襲する

津波は繰り返し襲ってきます。また、最初の波が最も大きいとは限りません。一度波が引いても、津波注意報が解除されるまでは気を抜かず、避難を続けましょう。

津波は河川を遡上する

津波は河口から侵入し、何キロメートルも上流に遡上(逆流)することがあります。遡上した津波が、河川堤防を越えて沿川地域に大きな被害をもたらすことがあります。

引き潮があるとは限らない

津波は引き潮から始まるとは限りません。よく、津波の前には引き潮があると言われていますが、地震の種類や震源付近の地形などの影響によっては、いきなり津波が襲ってくる場合があります。

津波避難の3原則

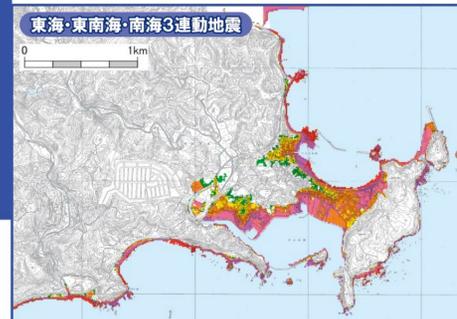
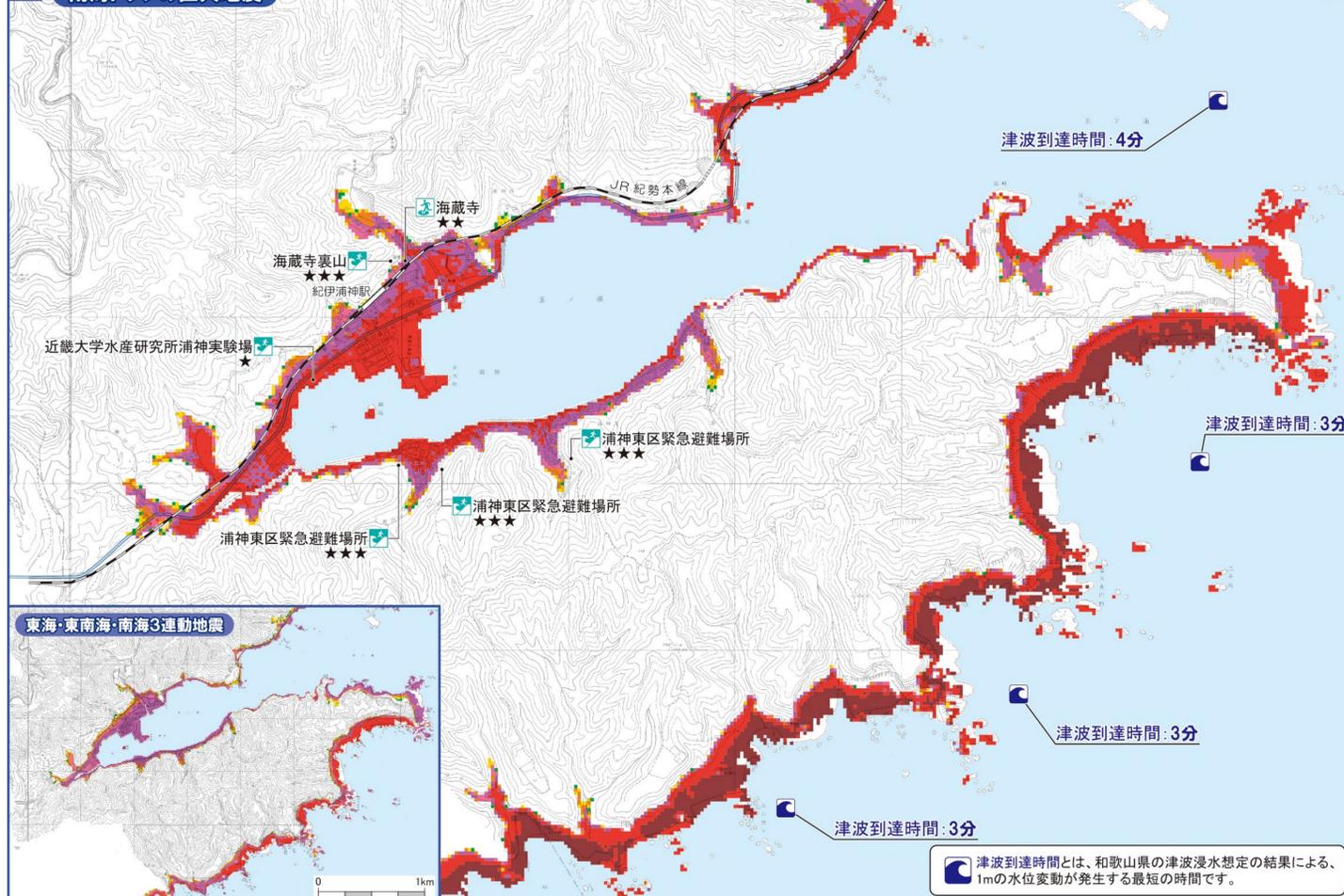
津波警報が解除されるまで絶対に戻らない!

- 1 想定にとらわれるな
- 2 最善をつくせ
- 3 率先避難者たれ

ハザードマップに掲載されている津波の浸水域などの情報は、あくまでひとつの「想定」です。実際の地震や津波が想定通りになるとは限りません。実際にどこまで浸水するかといったことは、事前にはわかりません。その時に考えられる最善を尽くして、あきらめず避難しましょう。率先して避難することで、周囲の人の避難を促すことにもつながります。

※和歌山県防災課 防災課 防災対策室

3 南海トラフの巨大地震



●津波ハザードマップの想定地震●
 南海トラフの巨大地震 マグニチュード9.1
 千年~万年に1回程度発生するかどうかの地震であり、発生頻度は極めて低いものの、発生すれば被害が甚大です。
 東海・東南海・南海3連動地震 マグニチュード8.7
 約100年周期で発生する、繰り返し起きている地震です。

